

## 製品の特長

### 性能

- ・230Tbpsのファブリック容量
- ・最大48Bpps
- ・1スロットあたり最大19.2Tbps
- ・最大288のワイヤスピード400Gポート
- ・25Gおよび50Gモードのサポート
- ・4マイクロ秒未満のレイテンシー（64バイト）

### ハードウェアの高可用性

- ・N+Nのグリッド冗長電源システム
- ・1+1の冗長スーパーバイザ
- ・冗長ファブリック・モジュール
- ・N+1の冗長ファン・モジュール

### 仮想化とプロビジョニング

- ・CloudVision
- ・VXLANによる次世代DC
- ・LANZによるマイクロバースト検出
- ・VM Tracer
- ・ゼロ・タッチ・プロビジョニング（ZTP）
- ・高度イベント・モニタリング
- ・sFlow（RFC3176）
- ・IEEE 1588 PTP

### スケーラブルなアーキテクチャ

- ・高密度の400Gおよび100G
- ・25Gおよび50Gの柔軟なサポート
- ・ディープ・パケット・バッファ（1ラインカードあたり16GB）
- ・ポートごとの仮想出力キューでHOL（head of line）ブロッキングを回避
- ・100KルールのアルゴリズムACL

### 耐障害性を備えたコントロール・プレーン

- ・マルチコア・ハイパースレッドx86 CPU
- ・32GB DRAM/4GBフラッシュ
- ・デュアル・スーパーバイザ・モジュール
- ・仮想マシン内でユーザー・アプリケーションを実行可能

### データセンター・クラスの設計

- ・ACおよびDCの電源オプション
- ・前面吸気/背面排気のエアフローによる冷却の最適化
- ・400G 1ポートあたり50Wの通常電力
- ・42Uラックあたり100Gポート最大864個

### Aristaの拡張可能なオペレーティング・システム

- ・単一のバイナリ・イメージ
- ・完全にモジュール化されたネットワークOS
- ・ステートフル・フォールト・コンテインメント（SFC）
- ・ステートフル・フォールト・リペア（SFR）
- ・Linuxシェルやツールへのフル・アクセスを提供
- ・拡張可能なプラットフォーム - bash、Python、C++、GO、OpenConfig

## 概要

Arista 7500R3シリーズは、特別に構築されたモジュール型スイッチで、230 Tbpsのシステム・スループットで業界最高水準の性能を実現し、最大規模のデータセンターのニーズにも対応できます。拡張性に優れたL2およびL3リソースを提供し、ネットワーク監視、正確なタイミング、およびネットワーク仮想化のための高度な機能を備えています。これにより、拡張性と決定性に優れたネットワークパフォーマンスを実現すると同時に、設計のシンプル化と運用コストの削減を実現します。

7500R3は、大規模なレイヤ2およびレイヤ3クラウド設計、オーバーレイ・ネットワーク、仮想化および従来のエンタープライズ・データセンター・ネットワークを含む、幅広いオープン・ネットワーキング・ソリューションに導入できます。ディープ・パケット・バッファと大規模なルーティング・テーブルによって、インターネット・ピアおよび安全なデータセンター相互接続アプリケーションが可能になり、極めて高い展開の柔軟性が得られます。

コンパクトなシステム設計で、12スロット、8スロット、および4スロットから選択できるArista 7500R3は、次世代の7500シリーズであり、ファブリック・モジュール、ラインカード、およびスーパーバイザ・モジュールの投資を保護するシームレスなアップグレードを提供するとともに、ワンランク上の性能、密度、信頼性、および電力効率を実現します。7500R3では、最大ワイヤスピード400Gの288ポートと100Gの576ポートまでサポートできます。合計容量は230Tbps以上で、ラインカードを幅広く選択できます。標準ベースのOSFPとQSFP-DD 400GおよびQSFP 100Gbインターフェイスでは、25Gと50Gを含む速度を選択できるので、ほかに例を見ない柔軟性が提供され、データセンターを次世代のイーサネット性能へとシームレスに移行することができます。

スーパーバイザ、電源、ファブリック、および前面吸気/背面排気の冷却モジュールに冗長性があるので、すべてのコンポーネントがホットスワップ可能です。このシステムは、データセンター向けに特別に構築されたもので、フル搭載の筐体で通常消費電力が100Gポートあたり25W未満という電力効率を誇ります。このような特徴から、Arista 7500R3は、信頼性に優れた高度にスケーラブルなデータセンター・ネットワークの構築に最適なプラットフォームとなっています。



Arista 7500R3シリーズのモジュール型データセンター・スイッチ

## Arista EOS

7500R3シリーズを含めアリストネットワークスの全製品で、同一のArista EOSソフトウェアが実行されています。このソフトウェアは、すべてのスイッチに対して単一の標準を使用することでネットワーク管理を簡素化するバイナリ・イメージです。Arista EOSは、モジュール型ネットワークOSで、スイッチの状態管理をプロトコル処理やアプリケーション・ロジックから完全に分離する独自の状態共有アーキテクチャを採用しています。標準のLinuxカーネルを基盤として構築され、すべてのEOSプロセスは、独自の保護メモリ空間内で実行され、インメモリ・データベースを介して状態を交換します。このマルチプロセス状態共有アーキテクチャは、インサービス・ソフトウェアのアップデートおよび自己回復型の耐障害性の基盤となるだけでなく、転送中のデータ・プレーンの損失を起こすことなく、ステートフルなスイッチオーバーを実現できます。

Arista EOSにより、ゼロ・タッチ・プロビジョニング、LANZ、VM Tracer、Linuxベースのツールなど、高度なモニタリング機能と自動化機能をスイッチ上でネイティブに実行できます。

## Software Defined Cloud Network

Arista Software Defined Cloud Networking (SDCN) は、クラウド・コンピューティングの普及の原動力でもある、自動化、セルフサービス・プロビジョニング、およびパフォーマンスと経済性のリニア・スケーリングを実現しつつ、ネットワーク仮想化、カスタムなプログラム性、シンプルなアーキテクチャの低い導入コストを実現するといったSoftware Defined Networkingのトレンドを兼ね備えています。これにより企業とサービス・プロバイダーの両方のデータセンターに対し、ネットワークの価値を最大限に高める業界最高水準のソフトウェア基盤を構築します。ITインフラ内の最もミッション・クリティカルな場所を対象とする新しいアーキテクチャは、制御と可視化の機能をネットワークおよびシステム管理者に提供し、管理とプロビジョニングの簡素化、サービス提供の迅速化、コストを削減して、サービスの競争力を高める機会を創出します。

## AristaネットワークスのSoftware Defined Cloud Networkingを支える4本の柱:

### ユニバーサルなクラウド・ネットワーク

- ・ レイヤ2でMLAG、レイヤ3にECMP、ネットワーク仮想化にVXLANというスケーラブルで標準ベースの柔軟性
- ・ 50,000~1,000,000台のホストに対するノンブロッキングのリーフ/スパイン

### クラウド制御

- ・ AEM、ZTP/ZTR、LANZ、およびDANZを備えた標準ベースのEOS
- ・ 自動モニタリングによる可視化とテレメトリ

### ネットワーク全体の仮想化

- ・ eAPIによるマルチベンダーのAPIのサポート
- ・ VXLANとVMTracerによるVMWareおよびNSXのサポート
- ・ Microsoft OMIおよびOpenstack OVSDbのサポート

### ネットワーク・アプリケーションと自動管理

- ・ Arista CloudVisionによりネットワーク全体の状態を単一ポイントで把握
- ・ ネットワーク化されたアプリケーションによるワークロード・モビリティ、スマート・システム・ロールバック/アップグレード、およびワークフロー・テレメトリ
- ・ オープンなパートナー製品との統合

## データセンターの性能のスケーリング

Arista 7500R3シリーズではノンブロッキングのスイッチング容量が提供され、劇的に高速かつシンプルなデータセンター向けのネットワーク設計が可能になり、設備投資も運用コストも低減できます。一貫性のある単一のEOSを搭載した幅広いモジュール型システムにより、レイヤ2のMLAG、レイヤ3のECMP、VXLANオーバーレイ、インターネット・ピアなど、ネットワークと展開シナリオのあらゆる階層で柔軟に選択することができます。

Aristaネットワークスのマルチシャーシ・リンク・アグリゲーション (MLAG) テクノロジーは、リーフおよびスパインのアクティブ/アクティブL2ネットワーク・トポロジをサポートしています。レイヤ3のEqualコスト・マルチパス (ECMP) 設計では、ネットワークを完全にノンブロッキングで低遅延の2階層ネットワークにスケーリングして、予測可能で一貫性のあるアプリケーション・パフォーマンスを提供できます。L2/L3マルチパス設計オプションの柔軟性をオープン・スタンダードのサポートと組み合わせることで、最大限の柔軟性、スケーラビリティ、およびネットワーク全体の仮想化を実現できます。これにより単一の2階層設計で何十万ものホストまでスケーリングできます。どちらの設計でも、VXLANによるオーバーレイ・ネットワークがサポートされ、標準ベースのオーバーレイ・コントローラ・ソリューションと統合できます。

Arista 7500R3シリーズのFlexRouteエンジンは、柔軟性に優れたスケーラビリティを備え、インターネット規模のルーティングを行うルーティング・プラットフォームとしての展開に対応できます。Arista FlexRouteおよびEOS NetDBによって、商用チップセットではネイティブに利用できない先進の機能を実現できます。Arista EOSでは、可視化、自動化、およびネットワーク運用の向上により運用工数を削減できます。

## ルーティング・テーブルの規模

ネットワークのスケーラビリティは、システム転送テーブルのサイズによって直接影響を受けます。多くのシステムでは、一般的な種類の転送エントリごとに個別の固定サイズ・テーブルを使用して、「すべてに適合する」アプローチが採用されています。Arista 7500R3シリーズは、MAC、ルーティング、ホスト、およびARPテーブルに割り当てることができる転送リソースのデータベースを活用し、これらのテーブルを最適化する転送プロファイルを選択できます。さまざまなシステム転送プロファイルと組み合わせた柔軟性により、インターネット・ピア、仮想化、キャリア・エッジ、セキュリティ、およびデータセンターのスパインおよびリーフなど、幅広いネットワークトポロジおよびユースケースに対する最適リソース割り当てが保証されます。

## 高性能クラウド・ネットワーク向けの高度な機能

Arista 7500R3には、高度なトラフィック制御機能とモニタリング機能があり、自動化、データ・モニタリング、高精度タイミング、および次世代仮想化のソリューションを使用して、最新の高性能環境の俊敏性を向上できます。

データセンターを自動化することによって、お客様は最も効率的な方法でコンピューティング・リソースの動的なプロビジョニングを行うことができます。同時に、サービス・レベル・アグリーメント (SLA) を維持してビジネス・ニーズを満たすこともできます。Arista EOSは複雑なITワークフローを自動化し、ネットワーク運用を簡素化する一方で、ダウンタイムを短縮または排除します。Arista EOSの豊富な自動化機能によって、ネットワーク運用におけるヒューマン・エラーの要素を削減できるだけでなく、ITオペレーターがネットワーク作業を望むとおりに変更することもできます。

Aristaネットワークスは、クラウド・ライクなネットワーク自動化に対するさまざまなアプローチについてソリューションを提供します。最大のパブリック・クラウド環境のニーズに対応するとともに、学んだ教訓をCloudVisionのターンキー自動化ソリューションに応用します。

## CloudVision

CloudVisionは、ワークロードの調整やワークフローの自動化を行うためのネットワーク全域にわたる手法であり、クラウド・ネットワーク向けのターンキー・ソリューションです。CloudVisionは、EOSのパブリッシュ/サブスクリブ・アーキテクチャの手法を、ネットワーク全体に拡張し、ネットワークの状態、トポロジ、モニタリング、および可視化に対応します。これにより、企業は大きな社内開発をしなくてもクラウド・クラスの自動化に簡単に移行できます。

## Aristaネットワークスのイベント管理 (AEM)

アドバンスド・イベント・マネジメント (AEM) は、Arista EOSのサブシステムで、タスクを自動化し、EOSの動作とデータセンターのスイッチング・インフラ全体の運用をカスタマイズする強力で柔軟性に優れたツールです。運用全体を簡素化するため、AEMではアラートやアクションをカスタマイズするツールが提供されます。AEMによって、オペレーターはEOS内のインテリジェンスをフル活用して、リアルタイムのイベントへの対応、日常的なタスクの自動化、および変化するネットワーク状況に基づくアクションの自動化を行うことができます。

## 高精度のデータ分析

Aristaレイテンシー・アナライザ (LANZ) と高精度のデータ・アナライザ (DANZ) は、EOSに統合されている機能です。DANZは、100Gbpsおよび400Gbpsでのモニタリングと可視化の課題に対するソリューションであり、ITの運用において、実稼働のパフォーマンスに影響を与えることなく、輻輳の発生に関するフィードバックを予防的に提供し、トラフィックのフィルタリング、複製、集約、およびキャプチャを行うことができます。LANZは、マイクロバーストや輻輳の発生を、アプリケーションに影響が出る前に高精度でリアルタイムにモニタリングできます。また、発生源を特定し、影響を受けたトラフィックをキャプチャして分析することができます。

## 高精度タイミング (IEEE 1588)

Aristaネットワークスのハードウェアに基づいたPrecision Time Protocol (PTP) ソリューションは、堅牢なメカニズムで、高性能環境における正確なインバンド時刻配信を実現します。システム・クロックは、スーパーバイザ・モジュールのクロック入力ポートを使用して、PPSソースまたはIEEE 1588 PTPと同期できます。

## 仮想化

次世代の仮想化データセンターをサポートするには、オーケストレーション・ツールや、VXLANなどの新たなカプセル化テクノロジーとの緊密な統合が必要です。7500R3は、Arista VM Tracerスイートですでに提供されている価値の高いツールをベースにして、カプセル化環境に直接統合できます。VXLANと従来のL2/3環境の間にワイヤスピードのゲートウェイを提供することで、7500R3はサーバー、ファイアウォール、ロード・バランサーなどのVXLAN非対応のデバイスをシームレスに統合し、VXLANをMPLS以外の環境に対する標準ベースのL2拡張テクノロジーとして活用できるようにします。

## ネットワーク設計における最大限の柔軟性

- 最大256wayのECMPによるスケーラブルな設計により、柔軟性を提供し、大規模なリーフ/スパイン設計全体でトラフィックを均等に分散
- MLAG設計はネットワークのほぼすべてのレイヤで効果があり、セクション間の帯域幅を最大限に拡大し、リンクの障害においてはフェイルオーバーの時間を数百ミリ秒に短縮
- VXLANゲートウェイ、ブリッジング、およびルーティングにVMTracerの機能を使用することで、次世代のデータセンター設計が可能
- スケーラブルなルーティング・テーブルにより、インターネット・ルート・ピアをサポート
- 高密度の100Gおよび400Gラインカードの多彩な選択肢を備え、柔軟性に優れた25Gまたは50Gモードをサポート
- 標準ベースのIEEE 25GbEをサポートし、シンプルで費用対効果の高い移行を実現するミックス・アンド・マッチ・サポート
- 仮想出力キュー (VOQ) アーキテクチャとディープ・パケット・バッファリングにより、低遅延でHOL (head of line) ブロッキングを回避
- 1転送エンジンあたり最大100,000エントリのACLエントリに対応できるACLのスケーラビリティより、多彩なポリシー制御が可能
- L2およびL3の転送テーブル・リソースの柔軟な割り当てにより、設計の選択肢を拡大
- PTP、sFlow、DANZ、およびマルチポート・ミラーリングのツールにより、ネットワーク全体の可視化とモニタリングが提供され、トラフィックのバースト検出、レイテンシーと輻輳のモニタリングを行い、キャパシティ・プランニングによってアプリケーションのパフォーマンスと可用性を向上することが可能

## システムの概要

7500R3シリーズは、Arista 7500Rシリーズの投資を完全に保護するもので、主要コンポーネントのシームレスなアップグレード・パスと共通のシステム・アーキテクチャにより、長期にわたる投資保護を確保しています。7500R3の筐体オプションは次のとおりです。

- ・ **7512R**: 12スロット、18 RUの筐体で、最大12のラインカードとACまたはDCの電源オプションをサポート
- ・ **7508R**: 8スロット、13 RUの筐体で、最大8のラインカードとACまたはDCの電源オプションをサポート
- ・ **7504R**: 4スロット、7 RUの筐体で、最大4のラインカードとACまたはDCの電源オプションをサポート

これら3つの7500Rシステムは、7500R3シリーズ・ラインカードの任意の組み合わせに対応でき、密度、スケール、速度を選択できます。FlexRoute、Accelerated sFlow、およびAlgorithmic ACLのサポートに加えて、ルーティングとプログラマビリティの革新が含まれます。

Arista 7500R3は、1ポートあたりの電力が100Gポートで25Wという低さになるよう電力効率を考慮して設計されているので、総所有コストを低減できます。さらに前面吸気/背面排気の冷却と組み合わせて、データセンター環境を最適化し、極めて信頼性の高い、高密度で電力効率の高いモジュール型スイッチを実現しています。

## 7500R3の確定的なネットワーク性能

Arista 7500R3シリーズは、ディープ・バッファ仮想出力キュー (VOQ) アーキテクチャを使用しています。このアーキテクチャはHOL (head of line) ブロッキングを回避し、輻輳の非常に激しいネットワーク状況においてもパケットの破棄を実質的に回避します。

高度なトラフィック・スケジューラによって、すべての仮想出力キューに対し公平に帯域幅が割り当てられ、均等化キューイング、固定優先順位、ハイブリッド・スキームなどのキューの規則が正確に遵守されます。その結果、Arista 7500R3では、リアルタイム、マルチキャスト、ストレージのトラフィックが混在したトラフィック負荷でも低遅延を実現するなど、トップクラスのデータセンターの要件を容易に処理できます。

## 7500Rシリーズの筐体 - 12スロット、8スロット、4スロット

7500Rシリーズの筐体には、スーパーバイザ・モジュール2個、ラインカード・モジュール4個、8個、または12個、グリッド冗長電源モジュール、およびファブリック・モジュール6個を搭載できます。スーパーバイザおよびラインカード・モジュールは前面から、ファブリック・モジュールおよび電源は背面から挿入します。システムは完全にパッシブなミッドプレーンを使用し、各ファブリック・モジュールおよびラインカード・モジュールをコントロール・プレーンに接続できます。システム設計は、前面吸気/背面排気のエアフローで、データセンター展開向けに最適化されており、下位互換性と混合モード操作を完全にサポートして、前世代の7500Rシリーズから移行できます。



Arista 7500R3シリーズの筐体 (左から右) - 7512R、7508R、および7504R



## ラインカード・モジュール

ワイヤスピードのラインカードは、分散型の仮想出力キュー・アーキテクチャとロスレス・ファブリックにより、HOL (head of line) ブロッキングを回避し、全ポートにわたる公平性を提供することで、最大4Bppsの転送を実現します。ラインカードには最大16GBのポケット・メモリが搭載され、1入力ポートあたり約50ミリ秒のトラフィックをバッファリングできます。これにより、輻輳状態におけるパケットの破棄を実質的に回避することができます。ラインカードは、すべてのファブリック・モジュールにノンブロッキングのフル・メッシュで接続されます。

Arista 7500R3システムには、ラインカードを任意に組み合わせて搭載できます。極めて高い性能とスケーラビリティを必要とする環境では、データセンター、インターネット・エッジ、ルーティング、テレメトリおよびプログラム可能なパケット処理のための高度な機能を備えた、ピアリングおよびバックボーンでの柔軟な展開のためにキャリア・グレード機能を備えたクラウド・スケール密度を提供するために、幅広い速度とインターフェイス・オプションを選択できます。

## 7500R3および7500R3Kシリーズ・ラインカード

7500R3シリーズ・ラインカードは、100Gおよび400Gインターフェースの選択肢を提供し、シングルおよびマルチモード・ファイバーの両方に対して業界標準の光ファイバーをサポートし、マルチレート構成の柔軟性により、次世代ネットワーク・アーキテクチャの将来を保証します。速度の変更とブレイクアウト・モードは、ラインカードの他のポートとは独立に実行できます。100Gポートでは、50Gモードで高密度の10Gおよび25Gが可能です。OSFPおよびQSFP-DD 400Gポートの両方で、4x100Gおよび2x200Gモードとブレイクアウトのサポートが可能です。

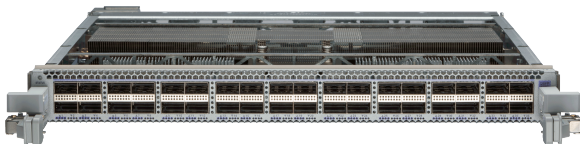
7500R3シリーズのラインカードは、FlexRoute、Accelerated sFlow、および大規模ACLをサポートする7280Rおよび7500Rシリーズの機能に基づいています。FlexRouteにはスケーラビリティがあり、インターネット規模のルーティングを行うルーティング・プラットフォームとしての展開に対応できます。アルゴリズムACLは、アクセス制御、ポリシー・ベースの転送、およびネットワーク・テレメトリの柔軟なパターン・マッチングを提供します。7500R3シリーズ・ラインカードのすべてのバリエーションは相互運用可能であり、大規模な7500R3Kシリーズ・ラインカードはFlexRouteサポートを2.5M以上のIPv4およびIPv6ルートに拡張します。高密度の100Gおよび400GのsFlowは、パケット転送に影響を与えずにトラフィック・ステアリングの可視性とプログラム制御を提供します。

## FlexRoute™

Arista FlexRouteエンジンは、ハードウェアでの完全なインターネット・ルーティング・テーブルのサポートを提供し、レイヤ3でのIPフォワーディングと、IPv4とIPv6の両方のルート・スケールを130万ルート以上に拡張するための十分な余裕を備えています。Arista R-シリーズ・ユニバーサル・スパインおよびリーフ・プラットフォームでレイヤ3転送テーブルを構築するための特許取得済みのアルゴリズム的アプローチを備えた革新的なFlexRouteエンジンは、Aristaに固有であり、これらのプラットフォーム・ルーターを呼び出す重要な要素です。大規模な7500R3KシリーズはFlexRouteサポートを2.5M以上のIPv4およびIPv6ルートに拡張します。

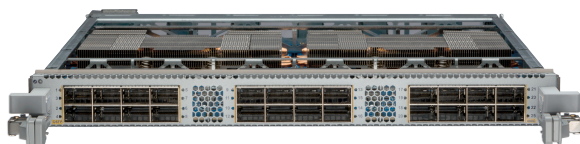
## 7500R3高速化されたsFlow

sFlowは、高度なネットワーク・テレメトリ、キャパシティ・プランニング、セキュリティ分析、およびエクスペリエンス監視の品質のためにネットワーク・オペレータが一般的に使用する強力なツールです。従来のsFlowは、システムCPUを使用して、数十万のフローのサンプルを処理します。最新の高性能システムでは、保証された高速サンプリングには、1秒あたり数十億パケットのパケット・レートをサンプリングおよび処理する機能が必要です。7500R3シリーズAccelerated sFlow機能により、フロー・サンプルのsFlowデータグラムへのサンプリングと処理は、フル・ワイヤスピード・システム、またはトリガーとフィルターに基づいた選択的サンプリングでさらに高いレートで1: 500のサンプリング・レートをサポートできる統合sFlowエンジンを介して処理されます。すべてのsFlow v5情報はsFlowレコードに含まれており、標準のsFlow収集および分析ツールとの統合を確実にし、主要な情報の損失を防ぎます。



7500R3-36CQおよび7500R3K-36CQ: 36ポートの100G QSFPラインカード

- 1ラインカードあたり最大36個の100Gポート、また72個の50Gポート
- 3.6Tbpsの転送
- 2Bppsのワイヤスピード性能 (8GBバッファ搭載)



7500R3-24Pおよび7500R3-24D: 400G OSFP 24ポートまたはQSFP-DDラインカード

- ワイヤスピードの400G 24ポートをOSFPまたはQSFP-DDの光接続で提供
- ブレイクアウト・ケーブルと光を備えた最大96の100Gポート
- 光ファイバーまたはケーブルを使用した柔軟な10G、25G、50G、100G
- 9.6Tbpsおよび4Bppsのワイヤスピード性能 (16GBバッファ搭載)

## アルゴリズムACL

アルゴリズムACLはソフトウェアとハードウェアの両方を組み合わせて、アクセス制御、ポリシー・ベースの転送、およびネットワーク・テレメトリのためのより柔軟でスケーラブルなソリューションを実現します。汎用メモリと高度なソフトウェア・アルゴリズムを組み合わせることで、低消費電力でより高いスケール、パフォーマンス、および効率を提供し、従来のソリューションよりも費用対効果が高くなります。アルゴリズムACLは、効率的なパケット・マッチング・アルゴリズムを活用して、アクセス制御、ポリシー、および可視性のフロー・マッチングを可能にします。最終的な利点は、コストと電力効率の高いソリューションで機能と拡張性の両方を備えた高性能ポリシー・エンジンです。アルゴリズムACLは、7500R3および7500R3Kシリーズのラインカードで使用できます。

- 同じ規模でIPv4およびIPv6アクセス制御を有効にします
- L4ルール範囲は、拡張または容量削減なしで効率的にプログラムされます
- 単一のパケットまたはフローで複数のアクションを実行できます
- ユーザー定義フィルターにより、カスタム・アクションのオフセットに基づいて柔軟なパケット分類が可能です
- 古いリソースを使い果たす一貫したセマンティクスを備えた豊富なポリシーをサポート

## 7500Rインバンド・ネットワーク・テレメトリ

インバンド・ネットワーク・テレメトリ (INT) は、スイッチのパフォーマンスに影響を与えることなく、トラフィックをリアルタイムで詳細に可視化するための標準的なアプローチです。INTは、トラフィック・ドロップ、遅延、輻輳、およびネットワーク・パスのフローごとの監視を提供します。INT情報は、デバイスごとおよびネットワーク全体の遅延を測定し、パケットをトレースし、パストポジを再構築し、ホットスポットを検出する予測分析および詳細なフォレンジック用に、IPFIXまたはsFlow形式で管理システムまたはArista CloudVisionなどのコレクターにエクスポートできます。

インバンド・ネットワーク・テレメトリは、7500R3および7500R3Kシリーズの製品で利用でき、外部コレクターへのミラーリングに加えて、発信、通過、および終了することができます。

## スーパーバイザ・モジュール

7500R3シリーズのスーパーバイザ・モジュールでは、Aristaの拡張可能なオペレーティング・システム (EOS) が実行され、システムのすべてのコントロール・プレーンと管理機能が処理されます。システムの動作に必要なスーパーバイザ・モジュールは1個であり、もう1個追加して1+1の冗長性を持たせることができます。32GBのDRAMを搭載したマルチコアx86 CPUとオプションのSSDにより、高度なデータセンター・スイッチの動作に必要なコントロール・プレーンの性能を提供し、500以上の物理ポートと何千もの仮想ポートへの拡張を実現します。1パルス/秒のクロック入力ポートにより、外部ソースと同期してモニタリング・ツールの精度を向上することができます。

## ファブリック・モジュール

7500R3シリーズの中心にあるのはファブリックです。ファブリックは、トラフィックに関係なく、すべてのラインカードをノンブロッキング・アーキテクチャで相互接続します。各ラインカード・モジュールは複数のリンクでファブリックに接続され、データ・パケットをリンク全体に分散してファブリック容量を最大限に活用します。7500R3のアーキテクチャでは、ファブリック・リンクをハッシュに基づいて選択する手法とは異なり、任意のポートから任意のポートへの損失のない効率100%の接続性を提供します。ファブリック・モジュールは、常にアクティブ/アクティブで、冗長性を備え、性能を低下させることなくホットスワップが可能です。各7500R3シリーズ用のファブリック・モジュールは、筐体のサイズによって異なりますが、すべてにファン・アセンブリが統合され、柔軟性と冗長性のある冷却が可能です。

## 電源モジュール

7500R3シリーズのスイッチには、速度可変のファンを内蔵した冗長性のあるホットスワップ可能なACまたはDC電源が装備されています。各システムは、3000 W ACまたはDC電源の選択により、N N電源冗長性をサポートします。AC電源は、Climate SaversのTitanium基準に適合しており、シングル・ステージで12V DCの内部電圧に変換して、94%以上の効率を実現します。DC電源は、-40~-72Vの直流入力を使用します。

## 7500R3の高可用性

Arista 7500R3シリーズは、連続的な運用に向けて設計されたもので、システム全体にわたるハードウェア・コンポーネントとソフトウェア・コンポーネントの両方のモニタリング、シンプルな保守およびプロビジョニングを備えて、単一の障害点を防止します。ハードウェアでは、スーパーバイザ、電源、ファブリック、および冷却モジュールに冗長性を持たせることで、すべてのコンポーネントをホットスワップ可能にし、高可用性をサポートしています。ファブリックの耐障害性と冗長性により、性能低下を確定し、ファン・システムの統合により、N+1の冗長性と組み合わせた動的な温度制御を実現しています。また、7500R3シリーズでは、電源と電力供給の両方の冗長性をサポートする電力の冗長性を提供します。Arista EOSソフトウェアでは、2個の冗長スーパーバイザ間のステートフル・フェイルオーバー (\*)に加えて、自己回復機能のあるステートフル・フォールト・コンテインメント (SFC)、ステートフル・フォールト・リペア (SFR)、およびインサーブिस・ソフトウェア・アップデートによるライブ・パッチをサポートして、連続的なサービスを確保できるようにしています。

## レイヤ2機能

- 802.1w Rapid Spanning Tree
- 802.1s Multiple Spanning Tree Protocol
- Rapid Per VLAN Spanning Tree (RPVST+)
- 4096 VLAN
- Q-in-Q\*
- 802.3adリンク・アグリゲーション/LACP
  - 256ポート/チャンネル
  - 1152グループ/システム
- MLAG (マルチシャーシ・リンク・アグリゲーション) \*
  - IEEE 802.3ad LACPを使用
  - MLAGごとに128ポート
- 802.1Q VLAN/トランッキング
- 802.1AB Link Layer Discovery Protocol
- 802.3xフロー制御\*
- ジャンボ・フレーム (9216バイト)
- IGMP v1/v2/v3スヌーピング
- ストーム制御\*

## レイヤ3機能

- スタティック・ルート
- ルーティング・プロトコル: OSPF、OSPFv3、BGP、MP-BGP、IS-IS、RIPv2
- 512wayの等価コスト・マルチパス・ルーティング (ECMP) \*
- VRF
- 双方向フォワーディング検出 (BFD)
- ユニキャストRPF (uRPF: Unicast Reverse Path Forwarding)
- VRRP
- 仮想ARP (VARP)
- ポリシー・ベース・ルーティング (PBR)
- ルート・マップ

## マルチキャスト

- IGMP v2/v3
- Protocol Independent Multicast (PIM-SM/PIM-SSM) \*
- PIM-Bidir\*
- Anycast RP (RFC 4610) \*
- Multicast Source Discovery Protocol (MSDP) \*

## 高度なモニタリングとプロビジョニング

- レイテンシー・アナライザとマイクロバースト検出 (LANZ)
  - 設定可能な輻輳通知 (CLI、Syslog) \*
  - イベントのストリーミング (GPBエンコード) \*
- ゼロ・タッチ・プロビジョニング (ZTP)
- 高度なミラーリング
  - ポート・ミラーリング (16セッション)
  - エンハンスド・リモート・ポート・ミラーリング
  - SPAN/TAP M:Nアグリゲーション
  - L2/3/4フィルタリング
- アドバンスド・イベント・マネジメント (AEM) スイート
  - CLIスケジューラ
  - イベント・マネージャ
  - イベント・モニター
  - Linuxツール
- TCPDumpによる統合パケット・キャプチャ/分析
- USBからの復元と設定

- RFC 3176 sFlow
- オプションのSSDによるログ記録とデータ・キャプチャ
- IEEE 1588 PTP\*

## 仮想化のサポート

- VXLANブリッジングおよびルーティング (VRF、MLAG) \*
- VM TracerによるVMware統合\*

## セキュリティ機能

- コントロール・プレーン保護 (CPP)
- L2、L3、L4フィールドを使用したインGRESS/イグレスACL
- インGRESS/イグレスACLのログ記録とカウンタ
- MAC ACL
- ACL拒否ログギング
- ACLカウンター
- アトミックなACLヒットレス再起動
- DHCPリレー/スヌーピング
- MACセキュリティ\*
- TACACS+
- RADIUS
- ARPトラップとレート制限

## QoS (Quality of Service) 機能

- ポートごとに最大8個のキュー
- 厳密な優先キューイング
- 802.1pベースの分類
- DSCPベースの分類とリマーキング
- イグレス・シェーピング/重み付きラウンド・ロビン (WRR)
- ポリシング/シェーピング
- ECN (Explicit Congestion Notification) マーキング\*
- 802.1Qbb Per-Priority Flow Control (PFC: 優先度ベース・フロー制御) \*
- 802.1Qaz Enhanced Transmissions Selection (ETS) \*
- データセンター・ブリッジング拡張 (DCBX) \*

## ネットワーク管理

- CloudVision
- 設定のロールバックとコミット
- 100/1000管理ポート
- RS-232シリアル・コンソール・ポート
- USBポート
- SNMP v1、v2、v3
- IPv6経由の管理
- TelnetとSSHv2
- Syslog
- AAA
- 業界標準のCLI
- ビーコンLEDによるシステム認識
- システムのログ記録
- 環境モニタリング
- 

\*現在EOSではサポートされていません。

## 高可用性

- L2ステートフル・スイッチオーバー (SSO) \*
- L3ステートフル・スイッチオーバー (SSO) \*
- SSUスパイン

## 拡張性

- Linuxツール
  - Bashシェル・アクセスとスクリプティング
  - RPMサポート
  - カスタムのカーネル・モジュール
- Software Defined Networking (SDN)
  - eAPI
  - OpenStack Neutronのサポート
- プログラムによるシステム状態へのアクセス
  - Python
  - Chef
  - Puppet
  - C++
  - eAPI
  - OpenStack Neutronプラグインのサポート
- KVM/QEMUのネイティブ・サポート

## システムのスケラビリティ

- 9216バイトのジャンボ・フレームのサポート
- 1ポートあたり8個の優先キュー
- 1152個のリンク・アグリゲーション・グループ (LAG)
- LAGごとに32ポート
- 仮想出力キューイング
- 分散スケジューラ
- WFQ、CIR\*、ETS\*、固定優先度

## 準拠規格

- 802.1D Bridging and Spanning Tree
- 802.1p QOS/COS
- 802.1Q VLANタギング
- 802.1w Rapid Spanning Tree
- 802.1s Multiple Spanning Tree Protocol
- 802.1AB Link Layer Discovery Protocol
- 802.3ad LACPによるリンク・アグリゲーション
- 802.3xフロー制御
- 802.3ab 1000BASE-T
- 802.3zギガビット・イーサネット
- 802.3ae 10ギガビット・イーサネット
- 802.3by 25ギガビット・イーサネット
- 802.3ba 40ギガビット・イーサネット
- 802.3ba 100ギガビット・イーサネット
- 802.3bs 400 および200 ギガビット・イーサネット
- マルチモード・ファイバーで802.3cm 400ギガビット
- RFC 2460インターネット・プロトコル、バージョン6 (IPv6) 仕様
- RFC 2461 IPv6バージョン6 (IPv6) の近隣探索
- RFC 2462 IPv6ステートレス・アドレス自動構成
- RFC 2463インターネット・プロトコル・バージョン6 (IPv6) 仕様のインターネット制御メッセージ・プロトコル (ICMPv6)
- IEEE 1588-2008 Precision Time Protocol

## SNMP MIB

- RFC 3635 EtherLike-MIB
- RFC 3418 SNMPv2-MIB
- RFC 2863 IF-MIB
- RFC 2864 IF-INVERTED-STACK-MIB
- RFC 2096 IP-FORWARD-MIB
- RFC 4363 Q-BRIDGE-MIB
- RFC 4188 BRIDGE-MIB
- RFC 2013 UDP-MIB
- RFC 2012 TCP-MIB
- RFC 2011 IP-MIB
- RFC 2790 HOST-RESOURCES-MIB
- RFC 3636 MAU-MIB
- RMON-MIB
- RMON2-MIB
- HC-RMON-MIB
- LLDP-MIB
- LLDP-EXT-DOT1-MIB
- LLDP-EXT-DOT3-MIB
- ENTITY-MIB
- ENTITY-SENSOR-MIB
- ENTITY-STATE-MIB
- ARISTA-ACL-MIB
- ARISTA-QUEUE-MIB
- RFC 4273 BGP4-MIB
- RFC 4750 OSPF-MIB
- ARISTA-CONFIG-MAN-MIB
- ARISTA-REDUNDANCY-MIB
- RFC 2787 VRRPv2MIB
- MSDP-MIB
- PIM-MIB
- IGMP-MIB
- IPMROUTE-STD-MIB
- SNMP Authentication Failureトラップ
- ENTITY-SENSOR-MIBのサポートによるDOM (Digital Optical Monitoring)
- ユーザー設定可能なカスタムのOID

MIBの最新のサポート状況については、EOSリリース・ノートを参照してください。



筐体	DCS-7512N	DCS-7508N	DCS-7504N
スーパーバイザのロット数	2	2	2
ラインカードのロット数	12	8	4
ファブリック・モジュールのロット数	6	6	6
電源のロット数	12	8	4
物理的寸法 (高さx幅x奥行)	31.5 x 17.3 x 33.4インチ (80.1x44.1x84.8cm)	22.75x 17.3 x 31.3インチ (57.8x 44.1 x 79.5cm)	12.25 x 17.3 x 31.3インチ (31.2 x 44.1 x 79.5cm)
ラック・ユニット	18	13	7
重量 (筐体のみ)	185ポンド (84 kg)	95 lbs (43.1 kg)	76.5 lbs (34.7 kg)
重量 (フル装備システム)	661 lbs (300 kg)	400 lbs (182 kg)	222 lbs (101 kg)
最大の10G密度	2304ポート	1536ポート	768ポート
最大の25G密度	2304ポート	1536ポート	768ポート
最大の40G密度	432ポート	288ポート	144ポート
最大の50G密度	2304ポート	1536ポート	768ポート
最大の100G密度	432ポート	288ポート	144ポート
最大の400G密度	288ポート	192ポート	96ポート
最大スループット/PPS	230Tbps / 48 Bpps	153Tbps / 32 Bpps	76.8Tbps / 16 Bpps
最大消費電力	TBD	TBD	TBD

\* すべてのポートがブレイクアウト状態で最大、EOSスケール・サポートの対象

ファブリック・モジュール	DCS-7512R3-FM	DCS-7508R3-FM	DCS-7504R3-FM
冗長性	円滑な劣化	円滑な劣化	円滑な劣化
寸法 (高さx幅x奥行)	2.5 x 21 x 10.25インチ (6.4 x 53 x 26cm)	2.5 x 14 x 10.25インチ (6.4 x 35.6 x 26cm)	2.5 x 8.5 x 10.25インチ (6.4 x 21.6 x 26cm)
重量	26.75 lbs (12.2 kg)	13.25 lbs (6.0 kg)	7.5 lbs (3.4 kg)
ファン・モジュールの統合	有	有	有
筐体のサポート	DCS-7512N	DCS-7508N	DCS-7504N

\* 通常消費電力は、25C環境で全ポートに50%の負荷で測定  
新しく設置する場合はすべて7500Nの筐体を推奨

7500R3シリーズ	7500R3-24P	7500R3-24D	7500R3-36CQ	7500R3K-36CQ
ポート	24 OSFP	24 QSFP-DD	36 QSFP100	36 QSFP100
最大10G	192	192	96	96
最大25G	192	192	96	96
最大40G	—	—	36	36
最大50G	192	192	72	72
最大100G	96	96	36	36
最大400G	24	24	—	—
高速化されたsFlow	有	有	有	有
ポート・バッファ	16GB	16GB	8GB	8GB
重量	19 lbs (8.6kg)	20 lbs (9.1 kg)	17.75 lbs (8.1 kg)	17.75 lbs (8.1 kg)
寸法 (幅x高さx奥行)	17.5 x 1.75 x 23インチ (44.5 x 4.5 x 58.4cm)			
筐体のサポート	DCS-7512N、DCS-7508N、DCS-7504N			

\* すべてのポートがブレイクアウト状態で最大、EOSスケール・サポートの対象

### ラインカード・リソース<sup>1</sup>

### 7500R3シリーズ

### 7500R3Kシリーズ

	バランスのとれた	L3	バランスのとれた	L3	L2
プロフィール					
MACアドレス	448,000	128,000	736,000	160,000	1.4M
IPv4ホスト・ルート	896,000	256,000	1.4M	320,000	2.8M
IPv6ユニキャスト・ホスト・ルート	224,000	64,000	368,000	80,000	736,000
IPv4ユニキャストLPMルート	704,000	1.3M	1.2M	2.5M	128,000
IPv6ユニキャストLPMルート	235,000	440,000	411,000	821,000	42,000
マルチキャスト・ルート	448,000	128,000	736,000	160,000	1.4M
ACLエントリ	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000

1. 場合によっては共有リソースに依存する最大値

\*通常消費電力は、25C環境で全ポートに50%の負荷で測定

## スーパーバイザ・モジュール

## DCS-7500-SUP2

プロセッサ	1.9GHz、マルチコア、x86、64ビット
システム・メモリ	32 GB
フラッシュ・ストレージ・メモリ	4 GB
RS-232シリアル・ポート	1 (RJ-45)
100/1000管理ポート	2 (RJ-45)
USB 2.0インターフェイス	2
SSDストレージ	120GB (オプション)
物理的寸法 (幅x高さx奥行)	8.5 x 1.75 x 23インチ (21.6 x 4.4 x 58.4cm)
重量	5 lbs (2.4 kg)
通常 (最大) 電力*	80W (120W)
筐体のサポート	DCS-7512N、DCS-7508N DCS-7504N

## 環境的特性

動作温度	0~40°C (32~104°F) 補足 <sup>1</sup>
保管温度	-40~70°C (-40~158°F)
相対湿度	5~90%
動作高度	0~10,000フィート (0~3,000m)

## 電源

## PWR-3KT-AC-RED

## PWR-3K-DC-RED

入力回路 (最大)	200-240V, 16A (20A UL)	-48~60V DC, 80A
入力周波数	50~60 Hz、単相	DC
出力電力	3000W	3000W
入力コネクタ	IEC 60320 C20	AWG #4~#3
効率	96%チタン	0.9
サイズ (幅x高さx奥行)	2.75 x 4.13 x 11.65インチ (7.0 x 10.5 x 29.6cm)	
重量	5.5 lbs (2.49 kg)	
筐体のサポート	DCS-7512N、DCS-7508N、DCS-7504N	

## 準拠規格

EMC	FCC、EN55022、EN61000-3-2、EN61000-3-3またはEN61000-3-11、EN61000-3-12 (該当する場合)
イミュニティ	EN55024 EN300 386
安全性	UL/CSA 60950-1、EN 60950-1、IEC 60950-1 CBスキームおよび各国の個別要求事項
認証	北米 (NRTL) 欧州連合 (EU) BSMI (台湾) C-Tick (オーストラリア) CCC (中国) MSIP (韓国) EAC (関税同盟) VCCI (日本)
欧州連合指令	2006/95/EC低電圧指令 2004/108/EC EMC指令 2011/65/EU RoHS指令 2012/19/EU WEEE指令

\*通常消費電力は、25°C環境で全ポートに50%の負荷で測定

## サポートされている光ファイバーとケーブル

インターフェイスの種類	OSFPポート
400GBASE-CR8	OSFPからOSFP: 0.5m~3m
400GBASE-AOC	OSFPからOSFP: 3m~30m
400GBASE-SR8	100m
400GBASE-DR4	500m
400GBASE-FR4	2km
400GBASE-2FR4	2km
400GBASE-LR4	10km
200GBASE-CR	OSFPから2xQSFP: 長さ1m~3m
100GBASE-CR	OSFPから4xQSFP: 長さ1m~3m
インターフェイスの種類	QSFP-DDポート
400GBASE-CR8	QSFP-DDからQSFP-DD: 0.5m~2.5m
400GBASE-AOC	QSFP-DDからQSFP-DD: 3m~30m
400GBASE-SR8	100m
400GBASE-DR4	500m
400GBASE-FR4	2km
400GBASE-2FR4	2km
400GBASE-LR4	10km
200GBASE-CR	QSFP-DDから2xQSFP: 長さ1m~2.5m
100GBASE-CR	QSFP-DDから4xQSFP: 長さ1m~2.5m

## サポートされている光ファイバーとケーブル

インターフェイスの種類	100G QSFPポート
100GBASE-SR4	70m OM3 / 100m OM4、パラレルMMF
100GBASE-SWDM4	70m OM3 / 100m OM4、パラレルMMF
100GBASE-SRBD 70m OM3/100m OM4双方向MMF	70m OM3 / 100m OM4、双方向MMF
100GBASE-PSM4	500m、パラレルSMF
100GBASE-LR4	10km、SM双方向
100GBASE-LRL4	2km、SM双方向
100GBASE-CWDM4	2km、SM双方向
100GBASE-ERL4	40km、SM双方向
100GBASE-AOC	1m~30m
100GBASE-CR4	QSFPからQSFP: 1m~5m
25GBASE-CR	QSFPからSFP25: 長さ1m~3m

## サポートされている光ファイバーとケーブル

インターフェイスの種類	QSFP+ポート
40GBASE-CR4	QSFP+からQSFP+: 0.5m~5m
40GBASE-AOC	3m~100m
40GBASE-UNIV	150m (OM3) /150m (OM4) 、500m (SM)
40GBASE-SRBD	100m (OM3) /150m (OM4)
40GBASE-SR4	100m (OM3) /150m (OM4)
40GBASE-XSR4	300m (OM3) / 400m (OM4)
40GBASE-PLRL4	1km (1km 4x10G LR/LRL)
40GBASE-PLR4	10km (10km 4x10G LR/LRL)
40GBASE-LRL4	1km
40GBASE-LR4	10km
40GBASE-ER4	40km



製品番号	製品説明
DCS-7512R3-BND	Arista 7512R筐体バンドル。7512N筐体、3kW電源8個、FM-R 6個、Sup2 1個を同梱
DCS-7508R3-BND	Arista 7508R筐体バンドル。7508N筐体、3kW電源6個、FM-R 6個、Sup2 1個を同梱
DCS-7504R3-BND	Arista 7504R筐体バンドル。7504N筐体、3kW電源4個、FM-R 6個、Sup2 1個を同梱
DCS-7512R3-BND-D	Arista 7512R筐体バンドル。7512N筐体、3kW電源8個、FM-R 6個、Sup2-D 1個を同梱
DCS-7508R3-BND-D	Arista 7508R筐体バンドル。7508N筐体、3kW電源6個、FM-R 6個、Sup2-D 1個を同梱
DCS-7504R3-BND-D	Arista 7504R筐体バンドル。7504N筐体、3kW電源4個、FM-R 6個、Sup2-D 1個を同梱
DCS-7512R3-BND-DC	Arista 7512R DC筐体バンドル。7512N筐体、DC電源8個、FM-R 6個、Sup2 1個を同梱
DCS-7508R3-BND-DC	Arista 7508R DC筐体バンドル。7508N筐体、DC電源6個、FM-R 6個、Sup2 1個を同梱
DCS-7504R3-BND-DC	Arista 7504R DC筐体バンドル。7504N筐体、DC電源4個、FM-R 6個、Sup2 1個を同梱
DCS-7512R3-BND-DC-D	Arista 7512R DC筐体バンドル。7512N筐体、DC電源8個、FM-R 6個、Sup2-D 1個を同梱
DCS-7508R3-BND-DC-D	Arista 7508R DC筐体バンドル。7508N筐体、DC電源6個、FM-R 6個、Sup2-D 1個を同梱
DCS-7504R3-BND-DC-D	Arista 7504R DC筐体バンドル。7504N筐体、DC電源4個、FM-R 6個、Sup2-D 1個を同梱
DCS-7500-SUP2	7500シリーズ用スーパーバイザ-2モジュール（スペア）
DCS-7500-SUP2-D	SSD搭載、7500シリーズ用スーパーバイザ-2モジュール（スペア）
DCS-7500R3-24P-LC	7500R3シリーズの24ポート400GbE OSFPワイヤスピード・ラインカード
DCS-7500R3-24D-LC	7500R3シリーズの24ポート400GbE QSFP-DDワイヤスピード・ラインカード
DCS-7500R3-36CQ-LC	7500R3シリーズの36ポート100GbE QSFP100ワイヤスピード・ラインカード
DCS-7500R3K-36CQ-LC	7500R3シリーズの36ポート100GbE QSFP100、大規模ルート、ワイヤスピード・ラインカード

### オプションのコンポーネントとスペア

DCS-7512N-CH	Arista 7512N筐体、スーパーバイザ・スロット2個、ラインカード・スロット12個、ファブリック・スロット6個、ACまたはDC電源（個別に注文）
DCS-7508N-CH	Arista 7508N筐体、スーパーバイザ・スロット2個、ラインカード・スロット8個、ファブリック・スロット6個、ACまたはDC電源（個別に注文）
DCS-7504N-CH	Arista 7504N筐体、スーパーバイザ・スロット2個、ラインカード・スロット8個、ファブリック・スロット6個、ACまたはDC電源（個別に注文）
DCS-7512R3-FM	7512N筐体用の7500R3シリーズのファブリック（ファン統合）モジュール（ファブリック・スロット1～6が必要）
DCS-7508R3-FM	7508N筐体用の7500R3シリーズのファブリック（ファン統合）モジュール（ファブリック・スロット1～6が必要）
DCS-7504R3-FM	7504N筐体用の7500R3シリーズのファブリック（ファン統合）モジュール（ファブリック・スロット1～6が必要）

#### 補足:

- Arista 7500Nスイッチには、C19-C20電源ケーブル（2m）を4本、6本、8本、または12本同梱しています。その他の電源ケーブルは別途ご注文いただく必要があります。
- 前面吸気/背面排気とは、スイッチ・ポート側からファン側へのエアフローです。

## オプションのコンポーネントとスペア

LIC-MOD-1-E	Aristaモジュール型スイッチ用の拡張ソフトウェア・ライセンス - 4スロット (OSPF、BGP、ISIS、PIM)
LIC-MOD-2-E	Aristaモジュール型スイッチ用の拡張ソフトウェア・ライセンス - 8スロット (OSPF、BGP、ISIS、PIM)
LIC-MOD-3-E	Aristaモジュール型スイッチ用の拡張ソフトウェア・ライセンス - 12スロット (OSPF、BGP、ISIS、PIM)
LIC-MOD-1-V	Aristaモジュール型スイッチ用の仮想化ライセンス - 4スロット (VM TracerとVXLAN)
LIC-MOD-2-V	Aristaモジュール型スイッチ用の仮想化ライセンス - 8スロット (VM TracerとVXLAN)
LIC-MOD-3-V	Aristaモジュール型スイッチ用の仮想化ライセンス - 12スロット (VM TracerとVXLAN)
LIC-MOD-1-V2	Aristaモジュール型スイッチのEOS拡張、セキュリティおよびパートナー統合ライセンス - 4スロット
LIC-MOD-2-V2	Aristaモジュール型スイッチのEOS拡張、セキュリティおよびパートナー統合ライセンス - 8スロット
LIC-MOD-3-V2	Aristaモジュール型スイッチのEOS拡張、セキュリティおよびパートナー統合ライセンス - 12スロット
LIC-MOD-1-Z	Aristaモジュール型スイッチ用のモニタリングおよびプロビジョニング・ライセンス - 4スロット (ZTP、LANZ、API、TapAgg)
LIC-MOD-2-Z	Aristaモジュール型スイッチ用のモニタリングおよびプロビジョニング・ライセンス - 8スロット (ZTP、LANZ、API、TapAgg)
LIC-MOD-3-Z	Aristaモジュール型スイッチ用のモニタリングおよびプロビジョニング・ライセンス - 12スロット (ZTP、LANZ、API、TapAgg)
LIC-MOD-1-FLX	Arista 4スロット・モジュール型のFLXライセンス - 最大2Mルートまでのフル・ルーティング、> 24K ACL、EVPN、VXLAN、SR、Adv MPLS-LER/LSR、TEおよびリンク/ノード保護付き
LIC-MOD-2-FLX	Arista 8スロット・モジュール型のFLXライセンス - 最大2Mルートまでのフル・ルーティング、> 24K ACL、EVPN、VXLAN、SR、Adv MPLS-LER/LSR、TEおよびリンク/ノード保護付き
LIC-MOD-3-FLX	Arista 12スロット・モジュール型のFLXライセンス - 最大2Mルートまでのフル・ルーティング、> 24K ACL、EVPN、VXLAN、SR、Adv MPLS-LER/LSR、TEおよびリンク/ノード保護付き
LIC-MOD-1-FLX-L	Arista 4スロット・モジュール型のFLX-Liteライセンス - 最大256,000ルートのフルルーティング、EVPN、VXLAN、SR、ベースMPLS LSR (TEまたはリンク/ノード保護なし)
LIC-MOD-2-FLX-L	Arista 8スロット・モジュール型のFLX-Liteライセンス - 最大256,000ルートのフルルーティング、EVPN、VXLAN、SR、ベースMPLS LSR (TEまたはリンク/ノード保護なし)
LIC-MOD-3-FLX-L	Arista 12スロット・モジュール型のFLX-Liteライセンス - 最大256,000ルートのフルルーティング、EVPN、VXLAN、SR、ベースMPLS LSR (TEまたはリンク/ノード保護なし)
PWR-3KT-AC-RED	7300および7500Nシリーズ用の3kW TitaniumスペアAC電源 (赤のハンドル)
PWR-3K-DC-RED	7300および7500Nシリーズ用の3kWスペアDC電源 (赤のハンドル)
DCS-7300-PCVR	7300および7500N電源スロット用のブランク・カバー
DCS-7500-SCVR	7500スーパーバイザ・スロット用のブランク・カバー
DCS-7500-LCVR	7500ラインカード・スロット用のブランク・カバー
KIT-7512	Arista 7512N用のスペア・アクセサリ・キット。C19-C20電源コード8本、2個および4個のポスト取り付けブラケットを同梱
KIT-7508	Arista 7508および7508N用のスペア・アクセサリ・キット。C19-C20電源コード4本、2個および4個のポスト取り付けブラケットを同梱
KIT-7504	Arista 7504および7504N用のスペア・アクセサリ・キット。C19-C20電源コード4本、2個および4個のポスト取り付けブラケットを同梱
CAB-C19-C20	電源コード、C19/C20 (2m)
CAB-C19-L6-20	電源コード、C19/L6-20 (2.5m)

### 保証

Arista 7500R3シリーズのスイッチは、1年間の制限付きハードウェア保証の対象で、製品を受領してから10営業日以内の部品提供、修理、または交換を保証します。

### サービスおよびサポート

翌営業日と4時間以内のアドバンス・ハードウェア交換を含むサポート・サービスをご利用いただけます。サービス拠点については、次のサイトを参照してください: <http://www.arista.com/en/service>

### アリスタネットワークスジャパン合同会社

〒170-6045 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 45F  
Tel:03-5979-2012(代表)

西日本営業本部  
〒530-0001 大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンプラザウエストオフィスタワー19階  
Tel: 06-6133-5681

お問い合わせ先  
[japan-sales@arista.com](mailto:japan-sales@arista.com)

Copyright 2019 Arista Networks, Inc.本書に記載されている情報は予告なく変更される場合があります。Arista、Aristaのロゴ、およびEOSは、Arista Networksの商標です。その他の製品名またはサービス名は、他社の商標またはサービス商標である可能性があります。